

2020年5月24日(日)メッセージアウトライン「愛とは関わること、見捨てないこと」

聖書箇所：ルカ10：25～37

タイトル：「愛とは関わること、見捨てないこと」

テーマ：このところ、「神を愛し、互いに愛し合いなさい」というイエス様の言葉が心に響き続けています。前回のメッセージでは、神の愛は具体的であること、私たちも「愛」を語るのではなく、具体的に行いをもって愛し合い、そこに神がおられることを証ししようとお話したのですが、今日は、良きサマリア人のたとえから、「愛」とは関わること、見捨てないことだということを考えてみたいと思います。私たちと他者との関係が本当にそうなっているのかも確認しつつ、私たちの内に潜む問題点も見てまいりましょう。

1. 良きサマリア人のたとえが語られた背景

- ①イエス様を陥れようとしていた人々
*律法の専門家が持っていた誤解
- ②律法の専門家とイエス様のやりとり

2. 良きサマリア人のたとえ（隣人とは誰か、隣人になるとはどういうことか）

- ①事件
- ②登場人物
*強盗に襲われた人 *祭司 *レビ人 *一人のサマリア人 *宿屋の主人
- ③誰が強盗に遭った人の隣人となったか

3. 良きサマリア人のたとえの中に見るイエス様の愛とその本質

- ①敵対する者に手を差し伸べ、最後まで見捨てない愛
- ②律法の専門家と私たちの中に見え隠れする偽善的態度
- ③隣人であり続けてくださったイエス様の生涯
- ④初めの人アダムが造られた時から隣人であり続けた神

4. 結論

- ①神が私たちが愛してくださったように
*愛とは関わること、見捨てないこと
- ②あなたの隣人は誰ですか？